

2023年度 日本海・瀬戸内海・太平洋縦断技術士会 In 鳥取 報告

公益社団法人日本技術士会
中国本部鳥取県支部 河本 達郎
西谷技術コンサルタント株式会社

1. はじめに

「日本海・瀬戸内海・太平洋縦断技術士会」は、前回2019年の高知県での開催後、コロナ禍の収束を待ち4年ぶりの開催となりました。

2. 概要

テーマ:『多様な技術者・有資格者（□）の参画（△）が社会を豊かに（○）する。DE&Iと□△○』

会場:鳥取県／倉吉体育文化会館

日時:2023年10月21日13:30～16:30

開会にあたり、倉吉市市長広田一恭様より来賓の挨拶をいただきました。

「△」

中国本部鳥取県支部



■ 基調講演

鳥取看護大学看護学部長 田中響教授より「DE&Iから暮らしやすい社会を目指して～ひとを育て、まちを育てる技術と技能～」と題した基調講演をいただきました。



■ 研究発表

各県より5つの発表がありました。

- 1) 鳥取県支部：田子京子様『誰もが活躍できる社会づくりーワーク&ライフをマネジメントしよう』
- 2) 島根県技術士会：三好恵美様『女性技術者としての歩み』
- 3) 岡山県支部：佐藤英治様『まち歩きによる防災マップづくり』
- 4) 香川県技術士会：飯田奈緒美様『女性技術者が挑戦するインフラDXの推進』
- 5) 高知県支部：松本洋一様『高知県支部から参加している、「四国なでしこ技術サロン」の活動内容の紹介』



3. 感想

前回高知での開催も前年2018年に発生した豪雨災害により開催を1年延期しています。社会の動向を踏まえて判断することは当然ですが、今回、お集まり頂いた皆様の様子や懇親会の盛り上がりから、皆、この機会を待っていたのだと実感され、開催出来たことをうれしく思いました。

また、今回のテーマは各県からの発表が

「難しいのでは？」との懸念もありましたが、
 基調講演だけでなく各県からの発表内容も
 充実し、刺激のある発表でした。



日本海新聞 10月22日(日)

<p>多様性社会の実現へ 資格の生かし方学ぶ 倉吉で中国の技術士会</p>	<p>中国、四国地方の国家資格「技術士」の取得者が一堂に会する「日本海・瀬戸内海・太平洋縦断技術士会in鳥取」(日本技術士会中国本部鳥取支部主催)が21日、倉吉体育文化会館で開かれた。参加者は講演を通じて、多様性に富んだ社会の実現に向けて資格がどう生かせるかを考えた。</p>	<p>多様性のある社会づくりに向け「資格」を使いこなせる分野がある」と語る田中教授。21日、倉吉体育文化会館。</p>
<p>中国、四国地方の国家資格「技術士」の取得者が一堂に会する「日本海・瀬戸内海・太平洋縦断技術士会in鳥取」(日本技術士会中国本部鳥取支部主催)が21日、倉吉体育文化会館で開かれた。参加者は講演を通じて、多様性に富んだ社会の実現に向けて資格がどう生かせるかを考えた。</p>	<p>ら約40人が参加し、鳥取看護大学理学部長の田中教授(基礎看護学)が「多様な技術者・有資格者の参画が社会を豊かにする」をテーマに講演した。</p>	<p>ど九つの塊を紹介し「皆さんの資格をどう生かせるか」と話した。田中教授は「資格と男女の性別差は関係ない」と話した。</p>
<p>中国、四国地方の国家資格「技術士」の取得者が一堂に会する「日本海・瀬戸内海・太平洋縦断技術士会in鳥取」(日本技術士会中国本部鳥取支部主催)が21日、倉吉体育文化会館で開かれた。参加者は講演を通じて、多様性に富んだ社会の実現に向けて資格がどう生かせるかを考えた。</p>	<p>ら約40人が参加し、鳥取看護大学理学部長の田中教授(基礎看護学)が「多様な技術者・有資格者の参画が社会を豊かにする」をテーマに講演した。</p>	<p>ど九つの塊を紹介し「皆さんの資格をどう生かせるか」と話した。田中教授は「資格と男女の性別差は関係ない」と話した。</p>

(井田慎)